

町田市新庁舎建設基本計画策定委員会第9回市民部会

議事要旨

日時：2004年12月11日 10:00～12:00

場所：町田市健康福祉会館4階 講習室

出席者：牧田助役、町田市新庁舎建設基本計画策定委員会委員長安藤（企画部長）

委員：＜第1分科会（施設）＞

井上（浩）分科会長、井上（直）副分科会長、赤堀委員、伊佐委員、大島委員、岡本委員、中里委員、西川（新）委員、野口委員

＜第2分科会（市民利用）＞

川島分科会長、盛永副分科会長、荒江委員、蒲委員、坂本委員、重森委員、崔委員、西川（紀）委員、西村委員、吉岡委員

＜第3分科会（まちづくり）＞

木美分科会長、浅井副分科会長、加来委員、高橋委員、福久委員、北条委員、前田委員

事務局：企画部新庁舎担当部長渋谷、企画部企画調整課新庁舎担当課長石川、企画部企画調整課課長補佐松村、同課主査傳田、同課主事浦田

傍聴者数：14名

＜議事要旨＞

1. 町田市新庁舎建設基本計画策定委員会委員長（安藤企画部長）あいさつ

- ・ 7～12月にかけての実質4ヶ月の短い期間で熱心な議論をいただき、大変感謝している。
- ・ 各分科会で町田市の特性に配慮いただき検討されていると感じた。新庁舎が、市民に使われ愛される施設としていかななくてはならないことを痛感している。
- ・ 提案いただいた内容をしっかり受け止めて基本計画の策定を進めてまいりたい。

2. 各分科会報告

各分科会長より、以下の通り、各分科会の提案報告があった。

(1) 第1分科会（施設）～井上（浩）分科会長

- ・ 新市庁舎像を議論する経過から、基本理念として次に述べる①～⑥の6つの方向性を抽出し、基本計画の方向性として掲げた。
- ・ 「①心のよりどころとなる、開かれた「私たちの」市庁舎」を目指し、市民に信頼され、共感を呼び愛着のわくような場とすべきである。また、コミュニティコアとして発信力を高める必要がある。

- ・ 「②徹底したユニバーサルデザインの導入」を行い、バリアフリー化はもちろん、誰にとっても美しいと感じる空間の実現を図る。また、心づかみやもてなしの心を浸透させる環境づくりと空間づくりを目指す。
- ・ 「③万全な防災・災害対応力とセキュリティで、安全・安心を確保できる市庁舎」を目指す。新潟県中越地震の惨状を目の当たりとし、災害情報の伝達手段の確保、災害復旧に対処する中枢機能の充実が必要であることを痛感した。情報収集、分析、対応策指示、行動が迅速に行われるよう、システムと機能の整備が必須条件である。
- ・ 「④環境に配慮し、緑豊かな町田を象徴する市庁舎」を目指す。丘陵が多く、湧水も多い町田市の地勢や風景をイメージできる庁舎としたい。地球温暖化対策に配慮した屋上緑化や太陽エネルギーの活用も積極的に検討する。
- ・ 「⑤シンプルで、わかりやすく、使いやすい市庁舎」を目指し、単純明快でわかりやすい市庁舎とする。①から④の理念の実効をあげるうえでも必要最小限にとという理念は基本中の基本である。
- ・ 「⑥変化に対応できる柔軟性をもち、永く使われる市庁舎」を目指す。基本構想における 50 年間の諸経費の試算によれば、建設費 1 に対して 50 年間の維持管理費が 3 の比率とされている。建設費はもちろん、維持管理経費が低く抑えられるよう十分配慮し、建物の長寿命化をはかるべきである。躯体と設備系を分離したシステムを採用する等で、寿命の異なる躯体と設備系とを分離して改修更新をスムーズにできるようにしておくとともに、将来の組織体制の変更や機能変化に柔軟に対応できる建物とする。
- ・ 「市庁舎の空間構成上の提案」のポイント
 - [市民と行政の接する窓口ゾーン]については、総合受付窓口を設置し、そこであらゆる情報の受発信が可能な体制としワンストップサービスを行えるものとする。市民が各部署を巡るのではなく、行政職員がその総合窓口に出向いてサービスする形も実施可能とする。障がい者への支援体制は充実させたものとし、聴覚障がい者と手話で対応できるスタッフを配置する。なお、市民と市職員との対応は、相談コーナーや談話コーナーなどを設置し、職員がカウンターを越えて市民に近づく形での対応スタイルが望まれる。
 - [市民と議会との関係]では、議会の議論が市民に伝わってくるよう配慮が必要である。開かれた議会を象徴し、市民の目線と同じ高さで政策論議が行われる議場は、ひな壇スタイルよりフラットな円形型議場が望まれる。車いす使用者の方が議員としてご活躍されるためにもバリアフリーでなければならないと考える。また、対面する形で、相手の表情を見たり感じたりしながら議論することで、より深みのある政策論争が可能となると思われる。
 - [空間の断面構成のイメージ]については、窓口機能や市民協働空間及び議会空

間は、市民がより親しめスムーズに接せられる低層部に配置し、許認可等の企業者との対応の多い部門は上層階に配置するという構想を画いた。ただし、分科会の議論のなかでは、市民協働空間は見晴らしの良い高層部が望ましいという意見もあった。

- [敷地配置計画]のイメージは、歩行者は駅前大通り（町・3・4・39号線）からのアプローチを主動線、市民ホールと都営住宅の間の空間からのアプローチをサブ動線と想定される。自動車動線は敷地と市民ホール、都営住宅を含む街区全体の外周部を整備した道路を動線とする。駅前大通りと拡幅した市道78号線が主動線とすることとなる。駐車場は地下に配置する。敷地は、市民に開放された空間を確保するとともに、外周部には常緑樹を植えて隣接街区の環境を損ねないように配慮した緑陰空間をつくり、内周部には落葉樹を配置して四季折々の彩りを感じられる町田の里山空間をイメージさせ、湧水のまち町田をイメージする水空間づくりにも配慮する。市民に開放された庁舎の象徴である広場空間は、非常時の多目的に使うよう配慮したものとしたい。

(2) 第2分科会（施設利用）～川島分科会長

- ・ 市民と行政をめぐる時代潮流変化を受け止める方向性として、「ユビキタス社会の実現がもたらす行政情報提供サービスの大幅な充実」、「市民が何でも相談できる行政へ」、「市民と協働する行政へ」を掲げた。
- ・ 今後、行政が主導して計画・立案するスタイルではなく、市民が企画・計画段階から参画するスタイルへの変革が求められるだろう。そのときには、市民と行政の協働の“場”が必要となる。
- ・ 市民と庁舎との接点として、自宅や事務所などからのリモートアクセス、市庁舎へのアクセス、市民センターへのアクセスといった接点チャンネルの多様化を図るべきである。
- ・ 分科会の議論を通じて、基本的方向性として「ワンストップ行政サービスの導入」、「市民との協働及び交流活動の場の確保」、「開庁時間の柔軟な対応」、「情報提供サービス機能の充実」、「市民センターと本庁舎の適切な役割分担と連携」、「庁舎以外の機能との複合化」を提案の柱として導き出したが、その中でも特に「ワンストップ行政サービス」と「協働・交流活動」が非常に重要な方向性であるととらえている。
- ・ ワンストップ行政サービスの導入をめざし、市民が1箇所であらゆるサービスを受けられるよう、コンシェルジュ・デスクサービスを提供し、市民のあらゆる相談に対応できるスタッフを配置する。コンシェルジュ・デスクが総合窓口化する。
- ・ 多様なアクセス経路を確保するマルチチャンネル化のひとつとして、市民からの問合せや相談に答えられるコールセンターを設置すべきとの意見が強かった。

- ・ 市民との協働については、これまで一方通行であった行政と市民との関係を改め、市民が計画立案に参加できることが必要であり、そのための“場”が求められる。
- ・ 市民協働空間では、打合せ会議スペースだけでなく、一定時間作業できるホテリングサービスの提供が求められる。また、市民協働を進めるためには、それを担える人材育成が非常に重要となる。
- ・ 庁舎 1 階には、ミニイベント等が開催できる交流スペースを配置する。交流スペースでは、若い人が高齢者に IT 機器の操作をアドバイスしている姿などがイメージされる。
- ・ 市民と行政の協働に伴って開庁時間の 24 時間化が必要となるだろう。
- ・ 市民・行政・議会の情報が共有されるととともに、情報の入手・発信機能の充実が必要となる。
- ・ 市庁舎と他の機能との複合化については、市民や企業のニーズをふまえて検討する必要がある。

(3) 第3分科会（まちづくり）～木美分科会長

- ・ 第3分科会では、「1. 市民に親しまれる庁舎空間の実現」、「2. 安全で快適なアクセス環境の実現」、「3. 賑わいを創出する周辺まちづくりの展開」の大きな3つの柱で議論を進めた。
- ・ 「市民に親しまれる庁舎デザインの実現」に向けて、新庁舎が街の中核としてシンボルとなり、周辺の町並みに溶け込めるデザインとなるべきである。
- ・ 「賑わいと憩いのある広場空間の創出」に向けて、たくさんの市民がイベントを行うことが可能なスペースを確保することが重要である。広場空間については、災害時のボランティア活動拠点としても活用も期待される。
- ・ 「周辺環境を活かした潤いと憩いのある庁舎空間の実現」に向けて、あえて「境川の活用」を強調した。分科会の議論の過程で新潟中越地震を目の当たりにし、災害に対する配慮について議論がなされ、災害時の水確保の重要性から、境川を利用することを提案した。
- ・ 敷地利用のイメージとして、庁舎建物を駅前通り側に寄せ、広場空間を横浜線側に確保したA案、庁舎建物をJR横浜線側に寄せ、広場空間を駅前通りに確保したB案の2案を提案することとなった。
- ・ 敷地利用 A 案では、JR 横浜線の騒音が懸念されており、広場空間がうるさくなることからイベント開催への弊害があることが予想されるとの意見があった。また、駅前通から徒歩により庁舎にアクセスした場合は、敷地内での歩行距離が短く歩行負担が小さい。
- ・ 敷地利用 B 案については「懐の深い庁舎」イメージを与えることができ、駅前通から広場空間でのイベント等は、多くの人々の目を惹くことが期待できる

との意見が示された。

- ・ 「2. 安全で快適なアクセス環境の実現」では、徒歩によるアクセス路、特に安心して歩けるようゆとりのある歩道幅を確保すべきとの強い意見が中心となって議論が進められた。
- ・ 「安全で快適な徒歩によるアクセス空間の整備」にあたっては、現状に対しては現在の歩道が狭すぎるという意見が多く、車道を狭めてでも、歩道は拡幅すべきだという意見があった。また、歩行者と自動車の動線を分離するため、ペDESTリアンデッキを設置すべきとの意見もあったが、街の賑わいが損なわれるのではないか、かえって歩道が狭くなるのではないかと反対意見も示された。
- ・ 「公共交通によるアクセスの充実」を図るため、弾力的なバスの運行スタイルの実現や、フリンジパーキング、パークアンドライドの実施が提案された。また、コミュニティバス「まちっこ」の運行ルートの変更、新設などが必要との意見も示された。
- ・ 「自動車による円滑なアクセス環境」を形成するために、新庁舎建設により、新たな渋滞を引き起こさないように、また、歩行者の安全性の確保として、歩行者と自動車の動線の交錯を避けるよう、自動車の出入路への配慮が検討された。
- ・ 忠生方面からの自動車によるアクセスの増加が予想されることから、市民ホール前交差点～森野交番前までの道路には右折レーンを整備し、また忠生方面への渋滞緩和策として森野交番前に左折レーンを整備するため、駅前通りの幅員を20mに拡幅する必要があるとの意見が示された。
- ・ 最後に、賑わいを創出する周辺まちづくりの実現に向けて、民間から自然発生的に生まれるまちづくりの動きを支援する必要があるとともに、風俗店舗等の立地を制限することが望ましいとの意見が示された。また、町田駅東側とは異なる顔として、市民利便機能を充実させ、シビックゾーンとしての整備を進めることとの意見が示された。
- ・ これまで、市民部会各分科会では、熱心に議論を重ねてきた。市議会でも特別委員会での検討が行われているようだが、市民による提案をぜひとも反映させるようにしてほしい。

4. 市民部会長あいさつ

- ・ 市民部会では4ヶ月間活発な議論を重ねてきた。市民部会の議論は今日をもって終了するが、私たちとしては今後も絶大な関心を持っていきたい。特に、具体化されてくる設計者選定とそれに続く設計案の作成、工事業者選定と建設工事、そして庁舎管理運営について、公正にガラス張りで見守られることを見守ってゆきたい。
- ・ 今後、設計者選定が議論の的となるが、最近の公共施設づくりでは、選定された

設計者と市民が参加するワークショップを通じて設計案を練り上げていく方法が多く採用されていると聞いている。市民に親しまれる市庁舎を建設していく意味で、市民が参加する機会を数多く設けられることが望まれる。

- ・ 市民部会として、実り多い成果を相当なボリュームの報告書として提出することができました。ご多用の中、短期間に集中して議論を重ねていただいた 30 人の委員の皆様には感謝申し上げます。

5. 牧田助役あいさつ

- ・ 7～12月の長期間にわたって、しかし、ここまでの報告書をまとめるには短期間であったにもかかわらず、熱心な議論により提案をまとめていただき大変感謝している。
- ・ 本日承ったそれぞれのお話し、いただいた報告書を基本計画にしっかり反映させ、これからの庁舎づくりに取り組みたい。

6. 今後のスケジュールについて（事務局から）

- ・ 本日報告いただいた市民部会の提案、並行して議論を進めている職員部会の提案をふまえ、学識経験者等のアドバイザーの指導を得ながら、来年3月までに基本計画の策定を行う予定である。
- ・ 市民部会の報告については、一部の修正をふまえて1月には報告書として完成させ、1月19日に正副分科会長により市長へ答申を行う予定となっている。
- ・ 来年度以降のスケジュールについては、基本設計に1年、実施設計に1年を要し、その後の建築工事には契約相手先選定を含めて3～4年を要する予定である。各場面で、各方面から意見を聞く機会を設けていく予定である。
- ・ 新庁舎担当は、来年度以降中町第三庁舎に移動する予定である。
- ・ これまで熱心に議論を重ねていただいた市民部会の皆様には厚く御礼を申し上げます。

8. 閉会

以上。